

令和2年度シラバス（国語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	現代文B	単位数	3単位	学年（コース）	2学年（商業関連学科）
使用教科書	精選 現代文B（三省堂）				
副教材等	現代文読解WORKS レッスン1（尚文出版） 論読現代文2（浜島書店） 頻出漢字マスター3000（尚文出版）				

1 学習目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 指導の重点

- ① 文章を的確に理解し、適切に表現するための言語事項を身につける。
- ② 文章の種類に応じて論理の構成や表現の工夫に注意して読むことで、内容を的確に理解し自分の考えを深める。
- ③ 言語を用いて自分の考えを他者に伝えるための効果的な方法を学び、適切に表現する力を身につける。

3 学習計画

期	単元・教材	学習内容	時間	
1 学 期	随想「最初のペンギン」	・「最初のペンギン」が持つ意義を通じて、不確かさに立ち向かい、乗り越えるための方法について考える。	22	
	中 小説「山月記」	・「李徴」及び「袁傜」の視点に沿いつつ、語り手が構成する場面の意味を考え、特徴的な文体が作品世界にもたらす影響を考えながら文章を読み味わう。		
	間	・問題集『論読現代文2』1～3 ・問題集『現代文読解WORKS レッスン1』 評論1小説1	・週1時間、問題集を使って、2時間1題のペースで、問題演習に取り組み、解答および自己採点のポイントをつかむ。 ・同じく週1時間、問題集を使って、1時間に1題半程度のペースで問題に取り組む。	
	末	評論「未来世代への責任」 評論「恐怖とは何か」 批評のまなざし①	・逆接を用いた論理の展開に着目して、筆者の主張を読み取る。 ・「恐怖」の原因と関わる論理を読み取り、キーワードである「自我」についての理解も深める。 ・筆者の主張に対する自分自身の意見を、論点を整理しながら表現する。	29
2 学 期	詩歌「永訣の朝」	・詩にこめられた心情を読み取ると共に宮沢賢治についての知識も深める。	25	
	中 評論「メディアと歴史」 小説「蠅」	・人間が生み出した道具や技術によって、私たちが拡張された身体と社会を生きているということの意味を読み取る。 ・文章に描かれる情景を表現に即して読み、人物の行動や状況を捉え、題名とも関わらせながら主題を読み取る。		
	中	・問題集『論読現代文』12～13 ・問題集『現代文読解WORKS	・週1時間、問題集を使って、2時間1題のペースで、問題演習に取り組み、解答および自己採点のポイントをつかむ。	

2 学 期	間	レッスン1』評論3小説3	・同じく週1時間、問題集を使って、1時間に1題程度のペースで問題に取り組む。	35
	期 末	評論「コンクリートの時代」 評論「戦争の〈不可能性〉」	・「建築」「戦争」について述べられた二つの評論を読み、そこに著された二十世紀の特徴を読み取る。	
3 学 期		小説「こころ」 批評のまなざし②③	・問題集『論読現代文2』14～15 ・問題集『現代文読解 WORKS レッスン1』評論4小説4 ・(冬) 問題集『論読現代文2』16～19	・週1時間、問題集を使って、2時間1題のペースで、問題演習に取り組む、解答および自己採点のポイントをつかむ。 ・同じく週1時間、問題集を使って、1時間に1題程度のペースで問題に取り組む。
	・問題集『論読現代文2』20～21 ・問題集『現代文読解 WORKS レッスン1』評論5小説5 ・(春) 問題集『論読現代文2』22～25 ・(春) 問題集『現代文読解 WORKS)』 レッスン1』評論6・7小説6・7		・週1時間、問題集を使って、2時間1題のペースで、問題演習に取り組む、解答および自己採点のポイントをつかむ。 ・同じく週1時間、問題集を使って、1時間に1題程度のペースで問題に取り組む。	

計149時間(47分授業)

4 課題・提出物等

課題・提出物については、評価し成績に含めるので、滞りなく提出すること。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の5つの観点から行う。

関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とする。

- ・年5回の定期考査
- ・授業で活用する副教材、プリントへの取組状況および提出状況
- ・長期休業に課される課題への取組状況および提出状況
- ・学習への参加状況

1年間の評定は、年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定する。

6 担当者からの一言

「現代文B」では、様々な文章を読み解くことを通していろいろな角度から現実を見つめ、自分の意見を持つことを大きなねらいとしています。受け身ではなく、自ら学ぶ姿勢を持って授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することを心掛けてください。また、授業を通して身につけた姿勢を日常生活にも生かし、積極的に言葉に関わり、幅広い視野を持つ努力をしましょう。

さらに、大学入試共通テスト対策として、問題演習ならびに適切な自己採点ができるように、学習していきます。希望する進路先が求める力に応えられるように、意欲的に取り組んでください。

令和2年度シラバス（国語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科(科目)	古典A	単位数	2単位	学年(コース)	2学年(商業関連学科)
使用教科書	高等学校 標準 古典A 物語選 (第一学習社)				
副教材等	完全マスター古典文法(第一学習社) 完全マスター古典文法準拠ノート(第一学習社) 漢文必携チェックノート(桐原書店) 全訳コンパクト古語辞典(ベネッセ)				

1 学習目標

古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

2 指導の重点

- ① 古典を読むために必要な語句の意味や用法、文法事項を身に付ける。
- ② 古典に描かれた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察し、自分の考えを深めたり、視野を広げたりする。
- ③ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすることによって、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。

3 学習計画

期	単元・教材	学習内容	時間
1 学期	中間 古今著聞集「小式部内侍が大江山の歌の事」 枕草子「中納言参り給ひて」 故事・寓話「嬰逆鱗」「画竜点睛」 「推敲」	・和歌説話を読んで、当意即妙の歌才が評価されてきた言語文化の伝統に理解を深める。 ・助動詞、敬語表現について理解する。 ・短めのお話や寓話を読んで、漢文に親しみをもち、故事成語の成り立ちを理解する。 ・訓読文、書き下し文について理解する。	1 2
	期末 伊勢物語「通ひ路の関守」 方丈記「ゆく川の流れ」 三国志の世界「水魚之交」	・文章や和歌を通して登場人物の行動と心情を読み味わうとともに、歌物語の特徴を理解する。 ・和漢混淆文に親しみ、対句および対句的表現を整理し、意味するところを理解する ・少々長い漢文を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・描かれた人物像を読み比べ、歴史の中の人間について考える。 ・反語などの句形を理解し、解釈に生かす。	1 4
2 学期	中間 伊勢物語「初冠」 大和物語「姨捨」 項羽と劉邦「鴻門之会」	・助動詞、和歌の修辞、音便について理解する。 ・作品中の和歌に登場人物の思いがどのように表現されているか考える。 ・用言の活用、係り結びの法則について理解する。 ・著名な逸話について興味をもち、話の展開を読み取る。 ・使役や反語などの句形を理解し、解釈に生かす。	1 2
	期末 平家物語「忠度の都落ち」 大鏡「弓争ひ」 漢詩の鑑賞「絶句」「臨洞庭」	・歴史物語を読んで、登場人物の人間関係を把握し、心情を読み味わう。 ・歴史物語の特徴と文学的意義を理解する。 ・助動詞、敬語表現について理解する。 ・漢詩のきまりを理解し、その形式の中で詠み込まれた心情や情景を味わう。	1 8

3 学 期	源氏物語「光る君誕生」	<ul style="list-style-type: none"> ・著名な物語を読んで、話のおもしろさを味わい、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・助動詞、敬語表現について理解する。 ・日記を読んで、筆者の心情や考え方を読み取り、当時の生活について理解する。 ・平安女流日記文学の特徴を理解するとともに、源氏物語との関連を理解する。 	19
	更級日記「門出」		
	孟子「仁人心也」 韓非子「法者王之本也」		

計75時間(47分授業)

4 課題・提出物等

副教材は、授業担当者の指示をよく聞いて学習に役立て、提出を要する場合は滞りなく提出すること。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の3つの観点から行う。

関心・意欲・態度	古典を進んで学習し、伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。
読む能力	古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察したり、古典特有の表現を味わったりする態度を身に付けている。
知識・理解	古典を読むために必要な、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とする。

- ・年5回の定期考査
- ・授業で活用するプリント等への取組状況および提出状況
- ・長期休業期間に課される課題への取組状況および提出状況
- ・学習への参加状況

1年間の評定は、年間を通じて、上記の内容および出席状況により総合的に判断して決定する。

6 担当者からの一言

「古典A」では、「国語総合」で学んだ古典の基礎（語句の意味や用法、文法事項など）の定着を図り、自分で解釈ができるように学習を進めていきます。

代表的な古典作品の文章を読み、人間や社会について考察することを通して、自分の考えや視野を広げる契機としましょう。

令和2年度シラバス（地理歴史）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	地理歴史（日本史B）	単位数	2単位	学年（コース）	2学年（商業関連学科）
使用教科書	『高校日本史』改訂版（山川出版社）				
副教材等	『最新日本史図表』三訂版（第一学習社）、『高校日本史ノート』改訂版（山川出版社）				

1 学習目標

日本史の展開を世界史的視野に立って総合的に理解するとともに、日本の文化と伝統の特色について認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

2 指導の重点

- ① 近代以前の日本の形成過程を、周辺地域との関わりをふまえながら、政治や社会の変遷をたどり理解させる。
- ② 近代以前に展開された日本と諸地域との外交交渉について、世界史的な視野から考察する。
- ③ 近代以前の日本文化について、各時代の文化の特色を把握し、現代の日本文化との連続性を理解させる。

3 学習計画

学期	単元名	学習活動（指導内容）	時間
1 学 期	第1章 古代社会の形成 1 日本文化のはじまり 2 農耕の開始 3 ヤマト政権と古墳	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡・遺物から、当時の人の暮らしを考察する。 ・農耕の発展が私有財産の成立と身分の差、村を越えた地域的な権力が形成されたことを、遺跡の発掘や中国の文献から考察する。 ・古墳時代の様子を古墳文化のさまざまな要素から考察する。 	26
	第2章 律令国家の形成 1 律令国家の成立 2 律令国家の繁栄 3 律令国家の変質	<ul style="list-style-type: none"> ・律令制の形成過程を東アジアの変動を踏まえて考察する。 ・律令国家の仕組みや、人々の生活について考察する。 ・天平文化や国家仏教、その時代の美術や絵画の特色について考察する。 ・律令制度の建て直しと、その後の政治制度の変質について考察する。 ・弘仁・貞観文化の特色について考察する。 	
	第3章 貴族政治の展開 1 摂関政治 2 国風文化 3 荘園の発達と武士の台頭	<ul style="list-style-type: none"> ・律令制支配の衰退と地方支配の仕組みの変質が中世的な世界を生み出していくことについて考察する。 ・国風文化について考察する。 ・寄進地系荘園の成立など土地制度が変化したことについて考察する。 ・大武士団の成立過程や、次第に政治的な力を持つようになったことについて考察する。 	
2 学 期	第4章 武家社会の形成 1 院政と平氏の台頭 2 鎌倉幕府の成立と発展 3 蒙古襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化	<ul style="list-style-type: none"> ・平氏が政権を獲得した過程を考察し、その政権基盤や院政期の文化について考察する。 ・鎌倉幕府の成立過程や支配機構、北条氏による執権政治について考察する。 ・蒙古襲来後の幕府政治の動揺などについて考察する ・宗教界の動向を踏まえ、建築・彫刻などに時代の変化に対応した新しい傾向を考察する。 	30
2 学 期	第5章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 下剋上の社会 3 室町文化 4 戦国の動乱	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸地域の動向に着目しながら、交通の発達や東アジア世界との交流などによって、流通経済が進展したことを考察する。 ・庶民の台頭と、応仁の乱後の下剋上の風潮のなかから戦国大名が登場し領国経営を進めたことを考察する。 ・庶民文化の萌芽、地方での文化の普及の様相を考察する。 	

	第6章 幕藩体制の成立 1 ヨーロッパ人の来航 2 織豊政権 3 江戸幕府の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人の来航と外来文化の受容を世界史的な視野で捉え、その後の日本の歴史に果たした役割を考察する。 ・織田信長・豊臣秀吉の統一過程と、全国的な支配体制の確立、秀吉の朝鮮侵略に至る対外政策について考察する。 ・徳川家康～家光の治世に確立した幕藩体制について、大名等の統制のあり方や「鎖国」体制の実態などを考察する。 	
3 学 期	第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化	<ul style="list-style-type: none"> ・文治政治への転換と商品経済の発展が封建制に及ぼした影響、幕政改革の諸相を考察する。 ・各地の産業の発達と交通網の整備によって全国的な商品流通経済が確立したことを考察する。 ・元禄文化の特色を考察し、学問・文芸・美術の諸側面について考察する。 	19
	第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革と宝暦・天明期の文化 2 幕府の衰退と近代への道 3 化政文化	<ul style="list-style-type: none"> ・幕政の改革の諸政策をその背景・ねらいについて、考察する。 ・宝暦・天明期の文化について考察する。 ・ロシア・イギリスなどの列強の接近が幕藩体制や「鎖国」体制に及ぼした影響について考察する。 ・化政文化の形成と学問・思想の新たな展開に注目しつつ、幕藩体制の動揺について考察する。 	

計75時間(47分授業)

4 課題・提出物等

- ・学習の進度に応じて、小テストや練習問題等の課題を課す。
- ・視聴覚教材等を用いた場合には感想レポートを課すことがある。
- ・長期休業中の課題については別途指示する。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きることに課題意識を持って追究している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について課題を見だし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色に関する文献、絵画、地図などの諸資料を活用することを通して、世界史的視野に立って追究し考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての基本的な事柄を、世界史的な視野に立って、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。

以上の観点を踏まえ、以下から総合的に評価する。

1. 授業のとりくみ姿勢（授業態度、学習活動への参加状況など）
2. 提出物などの内容・提出状況
3. 定期テスト

6 担当者からの一言

歴史は過去に学んで、現代をより深く理解し、より良い未来の創造に資するための学問です。平和な時代に生きることのできた私たちが、それをしっかりと受け継いでいくことができるように学びましょう。

なお、第9章以降は3年次に学習します。また、上記の計画は、生徒の学習状況・理解度など諸事情に応じて変更されることもあります。

令和2年度シラバス (数学)

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科 (科目)	数学 (数学A)	単位数	2単位	学年 (コース)	2学年 (商業関連学科)
使用教科書	東京書籍「数学A Standard」(東書 数A318)				
副教材等	東京書籍「WRITE 数学A」				

1 学習目標

場合の数と確率または図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度が育つことを目標とする。

2 指導の重点

- ① 場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。
- ② 平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。
- ③ ①, ②の内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどして、生徒の関心や意欲を高める課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識できるようにする。

3 学習計画

学期	単元名	学習活動 (指導内容)
1	1章 場合の数と確率 (36時間)	
	1節 集合と場合の数 1 集合と要素の個数 2 数えあげの原則 3 順列 4 組合せ 2節 確率とその基本性質 1 事象と確率 2 確率の基本性質	<ul style="list-style-type: none"> ・図表示などを用いて有限集合の和集合の要素の個数を求める。 ・和の法則, 積の法則を認識し, 樹形図や表を利用しながら求める。 ・順列の意味を理解し, その総数 nPr や階乗の計算をする。また, 円順列や重複順列など, いろいろな順列の計算をする。 ・組合せの意味を理解し, その総数 nCr を求める。また, 組合せの考えを, 組分けや同じものを含む順列に応用する。 ・試行と事象, 事象の確率について学び, 確率の意味を知り, 不確定な事象を数量的にとらえる。 ・和事象・積事象, 排反事象, 確率の基本性質, 確率の加法定理, 和事象の確率, 余事象とその確率を求める。
2	3節 いろいろな確率 1 独立な試行の確率 2 反復試行の確率 3 条件つき確率	<ul style="list-style-type: none"> ・独立な試行の確率について, 具体例を通してその意味を理解する。 ・反復試行の確率を理解し, 組合せを用いることを納得する。 ・条件つき確率と確率の乗法定理の学習を通して, 具体的な事象を数学的に考察する。
	3章 図形の性質 (36時間)	
	1節 三角形と比 1 三角形と比 2 三角形の重心・外心・内心 3 三角形の比の定理	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学んだ三角形と比の定理と中点連結定理を復習し, 証明についての理解を深める。三角形の内角の二等分線と比, 外角の二等分線と比を理解する。 ・三角形の重心・外心・内心の存在とその証明を理解する。また, 外接円, 内接円との関係を理解する。 ・チェバの定理, メネラウスの定理を理解し活用する。

学期	単元名	学習活動 (指導内容)
2	2節 円の性質 1 円周角の定理 2 円に内接する四角形 3 円と接線 4 接線と弦のつくる角 5 方べきの定理 6 2つの円	<ul style="list-style-type: none"> 円周角の定理の逆が成り立つことや、円に内接する四角形の定理と四角形が円に内接する条件の定理を理解する。 円と接線に関する基本的な性質を応用して、直角三角形の内接円の半径を求める。 接線と弦のつくる角の定理の証明をさまざまな方法で考える。 円と点の位置関係が異なっても方べきの定理が成り立つことを理解する。 2つの円の位置関係を理解する。
3	3節 作図 1 基本的な作図 2 長さの作図 4節 空間図形 1 空間における直線と平面 2 直線と平面の垂直 3 多面体の性質	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な作図や平行四辺形の成立条件や三角形と比の性質をもとに、平行な直線や線分の内分点・外分点などを作図する。 長さ1の大きさの線分が与えられたとき、2数の積や商および平方根などを、図形の性質を利用して作図で表現する。 空間における直線や平面の位置関係を踏まえ、図形の性質を論理的に考察する。 空間において特に直線と平面が垂直な場合について考察し、三垂線の定理を理解する。 オイラーの多面体定理などの多面体の基本的な性質を理解し、様々な多面体の計量を扱う。
	課題学習 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> 身近な課題について主体的に学習し、数学のよさを認識する。

計75時間 (47分授業)

4 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> ① 副教材の問題集 ② 授業中に配付するプリントなど ③ 長期休暇中の課題ノート
--

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。			
①関心・意欲・態度	②数学的な見方や考え方	③数学的な技能	④知識・理解
数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
以上の点をふまえ、定期考査・長期休業後の課題考査・提出物・授業への取り組みなどから、総合的に判断します。			

6 担当者からの一言

数学の学習は毎日の家庭学習がとても大切です。たくさん問題を解いて経験値を上げよう。忘れる暇もなく何度も練習するほど学習内容は定着します。脳の神経は使うほどに太くなるのです。過去に習ったことを忘れていたら、面倒がらずに調べよう。1年生の教科書や、中学の教科書、昔のノートも確認してください。きちんと勉強していた人は、過去の自分の真面目さに、きっと感謝するはずですよ。

令和2年度シラバス (理科)

学番 9 新潟県立新潟商業高等学校

教科 (科目)	理科 (生物基礎)	単位数	2単位	学年 (コース)	2学年 (商業関連学科)
使用教科書	東京書籍 改訂 新編生物基礎				
副教材等	第一学習社 標準セミナー生物基礎 実教出版 四訂版 サイエンスビュー生物総合資料				

1 学習目標

<ol style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を意識しながら生物や生物現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を身につける。 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身につける。
--

2 指導の重点

<ol style="list-style-type: none"> 現代生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった内容を、最先端の生物学を織り交ぜながら学習する。 生物の多様性の中から法則を導き、その中の法則に基づきながら共通性を見いだしていく。 観察・実験を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。さらに、実験に対する目的、仮説、準備、方法、結果、考察、発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。
--

3 学習計画

学期	月	学 習 内 容	時間
1学期	4	第1編 生物の特徴	3
		1章 生物の多様性と共通性 多様性と共通性、細胞にみられる多様性と共通性	
	5	2章 生命活動とエネルギー 生命活動を支える代謝、代謝を進める酵素、生体内のエネルギー変換 葉緑体とミトコンドリアの起源	6
		第2編 遺伝子とそのはたらき	5
	6	1章 生物と遺伝子 DNAの構造、DNAとゲノム	
	2章 遺伝情報の分配 細胞分裂におけるDNAの複製と分配、DNAの倍加、DNAの正確な複製	5	
	7	3章 遺伝情報とタンパク質の合成 DNAとタンパク質合成、遺伝子の発現と生命現象	7
2学期	9	第3編 生物の体内環境の維持	8
		1章 体内環境の維持 体内環境と体液の循環、恒常性と血液、体内環境を調節する器官	
	10	2章 体内環境を保つしくみ 自律神経系による調節、ホルモンによる調節、 自律神経系と内分泌系による協同作業	10
	11	3章 体内環境を守るしくみ 免疫のシステム、免疫とヒト	12
	12		

3学期	1	第4編 生物の多様性と生態系 1章 植生の多様性と遷移 生態系, 植生と生態系, 植生の遷移	7
	2	2章 バイオームとその分布 地球上の植生分布, さまざまなバイオーム	7
	3	3章 生態系とその保全 生態系でのエネルギーの流れ, 生態系での物質の流れ, 生態系のバランス 生物多様性の保全	5

計75時間(47分授業)

4 課題・提出物等

実験・観察のレポートは実施時間内に作成し、提出することを原則とする。
各単元内の内容によっては、授業内小テストも実施することがある。
副教材に含まれる練習問題は、授業の進度に合わせて各自が家庭学習として行うことを原則とする。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。
思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。
観察・実験の技能	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・年4回の定期考査
- ・授業で活用するプリント
- ・実験・観察のレポート
- ・授業中の学習意欲, 提出物への取り組み

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

6 担当者からの一言

生物基礎では、生物や生命現象を通して、身の回りの動植物、自然、または自分自身のからだのしくみや現象について学習します。身近な生命現象などを例に、生物の不思議さやおもしろさに迫っていきます。

令和2年度シラバス（保健体育）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	保健体育（体育）	単位数	2単位	学年（コース）	2学年（商業関連学科）
使用教科書	最新高等保健体育 改訂版				
副教材等	最新高等保健体育ノート				

1 学習目標

- ・ 運動の実践を通して、運動技能を高め、仲間とともに楽しさ・喜びを深く感じることができる。
- ・ 日頃の体調を整えるとともに、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育む。
- ・ 生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

2 指導の重点

- ・ 何事にもあきらめずに取り組む姿勢を身につける。（精神面、体力面）
- ・ 仲間とともに楽しさ・喜び・感動を分かち合いながら実践していく能力を身につける。
- ・ 様々な運動の特性を理解して、仲間とともに協力しながら実践し、互いに技能を高める。
- ・ 球技等のチームゲームにおいては、自己の役割を理解してチームに貢献する。
- ・ 安全に留意しながら、互いに相手を尊重して、公正な態度で試合ができるようにする。

3 学習計画

学期	月	学習内容	時間
1学期	4	体づくり運動（集団行動・スポーツテスト含む） 陸上競技（短距離・ハードル走・円盤投げ）	26
	5	↓	
	6	↓	
	7	↓	
		選択（外Ⅰ） ゴール型・ネット型・ベースボール型 〔サッカー・ソフトボール・バドミントン〕	
2学期	9	↓	30
	10	↓	
	11	↓	
	12	↓	
		選択（B授業） 武道・ダンス 〔柔道・剣道・ダンス〕	
3学期	1	選択（中Ⅱ） ゴール型・ネット型 〔バスケットボール（男子）・バレーボール（女子）・卓球・バドミントン〕	19
	2	↓	
	3	↓	

計75時間（47分授業）

4 課題・提出物等

特になし（但し、長期欠席や見学等の場合は課題の提出が必要な場合もある。）

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">・ 運動の楽しさや喜びを学び、自ら積極的に参加している。・ 公正、協力、責任などの社会的態度が身についている。・ 健康、安全に留意しながら運動を実践している。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none">・ 運動の特性に応じた課題を自己やグループにおいて課題解決を目指し、工夫し活動している。
運動の技能	<ul style="list-style-type: none">・ 自己・グループの能力と運動の特性に応じた課題を考慮しながら、自己・グループの技能向上を行っている。・ 与えられた課題を克服している。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none">・ 運動の大切さを理解して、体力の向上に努めている。・ 運動の特性、自己の体力・能力に応じた高度の技術を理解している。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

出欠席の状況
授業中の態度（意欲）
実技のテスト等

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容により総合的に判断して決定します。

6 担当者からの一言

- 1、体調管理をしっかり行い授業に臨むこと。
- 2、本校指定の体操着、内履き、外履きを着用すること。
- 3、授業開始に遅れないよう活動場所に集合、整列しておくこと。
- 4、見学をする場合は授業の1時間前に担当者に申し出指示を受けること。
- 5、貴重品は各自でしっかりと管理すること。

令和2年度シラバス（保健体育）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	保健体育（保健）	単位数	1単位	学年（コース）	2学年（商業関連学科）
使用教科書	大修館 最新保健体育 改訂版				
副教材等	大修館 最新保健ノート				

1 学習目標

- 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めること。
- 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養うこと。
- 二学年次においては、生涯を通じる健康へとつなげるため、思春期である高校生期の心や体について理解するとともに、適切に行動選択する能力を養い、保健・医療機関の活用について学び、中高年期の健康課題を解決していけるようにする。また、取り巻く自然環境や社会環境を深く知りながら、働く人の健康・安全の実現を可能にするような知識を習得する。

2 指導の重点

- 高校生の思春期は、体の変化や心に大きな動きが生じる生涯の中でもきわめて重要な時期である。そのような時期であることを理解するとともに正しい行動選択を行うようにする。
- 生命の尊さを理解するうえで、一連の妊娠から出産の流れや望まれない生命がないように計画的に出産することも知識として習得する。
- 思春期を過ぎての結婚・加齢していく中で有意義な人生を過ごすためにも、保健・医療のサービスを上手に活用することが不可欠である。それらを理解するとともに安全な社会づくりに大いに貢献できるようにする。
- 環境汚染の現状を理解することとその予防について考察していくことの大切さを自己の健康を併せて考えていく。
- 食の安全が、多く取り上げられている。自らのためにも十分な理解が必要である。
- 働くなかに、やりがいや生きがいを持つことと健康を関連させながら、よりよい社会や健康づくりをすることを考えていく。

3 学習計画

学期	月	単元名	学習活動（指導内容）	時間
1学期	4	2単元 生涯を通じる健康 1 思春期と健康	<ul style="list-style-type: none"> 思春期の体の変化と心のうごきについて理解を深める。 	13
	5	2 性への関心・欲求と性行動	<ul style="list-style-type: none"> 思春期の欲求や性行動の選択について深く考える。 	
	6	3 妊娠・出産と健康	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生命誕生の一連の過程を理解して、生命の尊さを深く知る。 	
		4 避妊法と人工妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> 家族計画を含めた安全・確実な避妊法の選択や人工妊娠中絶の負担などを理解する。 	
	5 結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> 最良のパートナーとの生活となる結婚について理解する。 		
	7	6 中高年期と健康	<ul style="list-style-type: none"> 中高年期における健康課題を理解するとともに、健やかに生きていくための工夫について考える。 	
2学期	9	7 医薬品とその活用	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品の正しい使用法とその安全性を守る取り組みについて理解を深める。 	
		8 医療サービスとその活用	<ul style="list-style-type: none"> 国民皆保険体制の充実における医療サービスのしくみについて理解する。 	
		9 保健サービスとその活用	<ul style="list-style-type: none"> 保健行政とそこで展開されているさまざまな保健サービスを理解する。 	

	11	10 さまざまな保健活動や対策 3単元 社会生活と健康 1 大気汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスプロモーションに基づく活動を理解する。 地球全体での大気汚染を考えていくことと自らの健康について深く考える。 次代に受け継ぐための水・土について、健康と関連しながら理解していく。 環境汚染を防ぐさまざまな取り組みについて理解する。 	15
	12	2 水質汚染・土壌汚染と健康 3 環境汚染を防ぐ取り組み		
3学期	1	4 ごみの処理と上下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備のごみ処理、上下水道の整備について自らがすべきことを深く考える。 食品の安全を守るために消費者としてできることを深く考える。 やりがい、生きがいをもって働くことの大切さと安全に配慮しながら働く重要さを認識する。 職場や余暇の過ごし方による健康づくりを目指していくための知識を習得する。 	10
	2	5 食品の安全を守る活動 6 働くことと健康		
	3	7 働く人の健康づくり		

計38時間(47分授業)

4 課題・提出物等

・各学期の保健ノート提出等

5 評価規準と評価方法

評価は、次の3つの観点から行います。

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 健康について興味・関心をもっている。 資料等を見ながら、意見等の交換ができる。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 経験や資料等をもとに、課題の解決の方法を模索する。 日常において健康・安全の実現という健康課題を解決する。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全について、課題解決に役立つ知識を身につけている。 適切な行動選択や環境改善について理解している。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- 年3回の定期考査
- 保健ノート等の提出
- 授業中の態度、質問への応答

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

6 担当者からの一言

- 一年次の保健授業からの健康課題を理解して、よりよく充実した人生を過ごすために欠かせない健康について、さらに深く理解してもらいたい。
- 高校生期の思春期の過ごし方や考え方で、その後の人生に大きな影響があり、健康保持増進のために体を大切にすると同時に心を育みましょう。

令和2年度シラバス（外国語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	4単位	学年（コース）	2学年（商業関連学科）
使用教科書	LANDMARK Fit English Communication II（啓林館）				
副教材等	・EG3000（いっずな書店）・総合英語 Evergreen（いっずな書店）				

1 学習目標

コミュニケーション英語Ⅰで学んだことを基にして、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

2 指導の重点

- ①英文を読んで内容を理解し、概要や要点を把握する力を養う。
- ②基本的な文法事項を習得させると共に、単語力、熟語力を養う。
- ③英文をリズムやイントネーションに注意しながら音読できる力を養う。
- ④学習した文法や語句を用いた英文を聞いて、その内容を理解できる力を養う。
- ⑤学習した文法や語句を用いて自分の考えを話したり書いたりする力を養う。

3 学習計画

期	単元名	学習内容	時間
1 学 期 中 間	Lesson 1 I'm the Strongest! Lesson 2 Tokyo's Seven-minute Miracle	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすテニスプレーヤー、国枝慎吾選手 ・if[whether]を使う間接疑問文 / 関係代名詞の省略 ・世界を驚かせた新幹線清掃チームTESSEI ・形式目的語のit① / 形式目的語のit② 	23
1 学 期 末	Lesson 3 Saint Bernard Dogs Lesson 4 Chanel's Style	<ul style="list-style-type: none"> ・スイスの国犬 セントバーナードの歴史 ・現在完了進行形 / 現在完了形の受動態 / S+V+分詞 ・ファッション界のカリスマシャネルの生き方 ・S+V+O+分詞 / 関係代名詞の非限定用法 / 関係副詞 why / 関係副詞の非限定用法 	28
2 学 期 中 間	Lesson 5 Science of Love Lesson 6 Gaudi and His Messenger	<ul style="list-style-type: none"> ・科学で解明する恋に落ちる原因 ・do you think を含む wh-疑問文 / be 動詞の補語になる that 節 / 所有を表す関係代名詞 whose / 同格の that 節 ・建築家ガウディとその遺志を継ぐ日本人彫刻家 ・現在分詞の分詞構文 / 過去分詞の分詞構文 / S+V[知覚動詞]+O+過去分詞 / 付帯状況を表す with 	31
2 学 期 末	Lesson 7 Letters from a Battlefield Lesson 8 Edo: A Sustainable Society	<ul style="list-style-type: none"> ・硫黄島の戦いと兵士からの手紙 ・複合関係詞 / 対比を表す while / 動名詞の意味上の主語 / 完了形の分詞構文 ・江戸時代のリサイクル社会 ・前置詞+関係代名詞 / 使役動詞+O+過去分詞 / ・助動詞+have+過去分詞 / 完了形の不定詞 	29
3 学	Lesson 9 AI and Our Future	<ul style="list-style-type: none"> ・AI技術が切り開く未来 ・仮定法過去 / 仮定法過去完了 / 進行形の受動態 / as if を使った仮定法 	38

期 期 末	Lesson 10 Bhutan: A Happy Country Reading The Fall of Freddie the Leaf	<ul style="list-style-type: none"> ・幸福の国ブータン ・強調構文 / 部分否定 / if を使わない仮定法 / 前文の内容を受ける関係代名詞 which ・葉っぱのフレディの一生 	
-------------	---	--	--

計 149 時間 (47 分授業)

4 課題・提出物等

- ・朝学習を実施する。
- ・授業内で毎週単語テストを実施する。
- ・長期休業毎に課題を指示し、各学期始めに課題考査を実施する。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
積極的な態度で言語活動に参加し、相手とのコミュニケーションを図ろうと努力している。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。	英語を聞いたり、読んだりして理解し、概要や要点をとらえることができる。	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

各学期の評価は具体的には次のものを対象とし、出席状況を加味し、総合的に判断して決定する。

- ・定期考査
- ・課題考査
- ・パフォーマンステスト
- ・朝学習への取り組みと単語テストの成績
- ・平常点 (授業での積極的性、指示された活動・課題への取り組みや提出状況など)

学年末の評価は、各学期の評価から総合的に判断して決定する。

6 担当者からの一言

予習を前提とします。授業では語句の意味や文の内容についての質問に答えられるようにしておいてください。そのうえで文中での意味や使い方を確認し、単語の発音・アクセントや英文の読み方を練習していきます。発音練習や音読練習でしっかり声が出るよう頑張ってください。また、文法事項等きちんと理解できるように説明や板書をノートに書き留めてください。復習では、英文の音読練習により学習した英文の内容を再確認してください。また、学習した語句を正しく書けるように、書く練習も繰り返し行ってください。

令和2年度シラバス（外国語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	英語表現Ⅱ	単位数	2単位	学年(コース)	2学年(商業関連学科)
使用教科書	『Vision Quest English Expression II Hope』（啓林館）				
副教材等	『Vision Quest English Expression II Hope New Workbook』（啓林館） 『総合英語 Evergreen』（いいずな書店） 『コアレックス英和辞典 第2版』（旺文社） *推薦辞書				

1 学習目標

- 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- 英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

2 指導の重点

情報や考えなどを理解し伝えることができるように、具体的な言語の使用場面を設定して、相手や目的に応じて、簡潔に話し、書き、発表する言語活動を英語で行う。

3 学習計画

期	単元名	学習内容	時間	評価方法
1 学 期	Lesson 1 伝統行事がいくつもあるのね Build up 1	・主語の決定／見えない主語の 発見／主語のit	26	・定期考査 ・パフォーマンステスト ・Workbook等 提出物
	Build up 2	・主語になる名詞句／形式主語 ／無生物主語		
	Lesson 2 職業体験はどうだった Build up 1	・自動詞と他動詞 ・SVO/SVOO		
	Build up 2	・SVC/SVOC		
2 学 期	Lesson 3 話したいことがあるんだ Build up 1	・使役動詞／知覚動詞	30	・定期考査 ・パフォーマンステスト ・Workbook等 提出物
	Build up 2	・動詞+O+to不定詞		
	Activity for Communication ①	Storytelling		
	Lesson 4 航空管制官として働きたいんだ Build up 1 Build up 2	・～する／～している ・～した／～していた		
2 学 期	Lesson 5 そんな経験をもう一度したいわ Build up 1	・義務・必要を表す助動詞／ 推量を表す助動詞	30	・定期考査 ・パフォーマンステスト ・Workbook等 提出物
	Build up 2	・「もし～ならば」「もし～だ ったなら」		
	Lesson 6 これはカナダのバンクーバーで 撮った写真なんだ Build up 1	・名詞を前から修飾する語句／ 名詞を後ろから修飾する		
	Build up 2	・関係代名詞／関係副詞		
	Activity for Communication ②	Role-Playing		

3 学 期	Lesson 7 携帯電話は私たちの生活になく てはならないもの？ Build up 1 Build up 2	<ul style="list-style-type: none"> 副詞・副詞句／不定詞や分詞を使った副詞句 副詞節①／② 原級／比較級 最上級／最上級の意味を表す表現 	19	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 パフォーマンステスト Workbook 等提出物
	Lesson 8 犬と猫、どっちが好き？ Build up 1 Build up 2			

計 75 時間 (47 分授業)

4 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> 定期考査毎にワークブックの点検を適宜実施する。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。			
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、英語を聞いたり話したりして積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。	日常生活の身近な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、発表したりして表現できる。	日常生活の身近な話題について、比較的平易な英語を聞いて、情報や考えなど、相手が伝えようとすることを理解できる。	日常生活の身近な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。
<p>具体的には次のものを総合的に判断し、評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 年5回の定期考査 不定期に実施するパフォーマンステスト 授業中に実施する小テスト 平常点(提出物、授業への取り組み状況等) 			

6 担当者からの一言

<p>1年時で学習した英語の基礎・基本を定着させ、日常生活の身近な話題について、書いたり話したりできるようになることを目指します。また、聞くこと、読むことも大切に、その活動を通して書く、話す力の向上につなげます。様々なトピックについてグループで話し合い、また自分の考えを発表することにより、自分と他人の意見を比較し、考えの幅を広げ、自己表現力の向上に努めましょう。</p>
--

令和2年度シラバス（芸術）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	音楽 I	単位数	2 単位	学年（コース）	2 学年（商業関連学科）
使用教科書	教育出版 音楽 I tutti 改訂版				
副教材等					

1 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ① さまざまなジャンルの音楽に触れることから、幅広い音楽の知識と技能を身につける。
- ② さまざまな演奏の活動を通し、豊かな感性・表現力を身につける。
- ③ 音楽における技能と感性を高めることにより、生涯音楽を愛好する心を育成する。

3 学習計画

学 期	単元名	学習事項	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
1 学期	歌唱①	日本の歌	・「ふるさと」 ・「この道」 ・日本語の歌詞の響きを追求し、日本の歌のよさ、奥深さを味わう。	1 2	授業の取り組み 実技試験
	楽典①	音楽理論の基礎、 楽譜の読み書き	・音階名、音符・休符の名前と意味、 拍子記号等の学習。	4	筆記テスト
	器楽①	ウクレレ演奏	・ウクレレの基本的な奏法 (コード伴奏)	1 2	授業の取り組み グループ発表
2 学期	歌唱②	イタリア語、 ドイツ語の歌唱	・「O sole mio」「Santa Lucia」 ・「野ばら」 ・イタリア語、ドイツ語の発音の特徴、 歌詞の意味を理解して、歌唱の表現を深める。	1 0	授業の取り組み 実技試験
	鑑賞①	民族音楽	・世界中の民族音楽を鑑賞し、 それぞれの音楽の歴史や特徴を学ぶ。	6	授業の取り組み
	楽典②	コードの学習 リズム練習	・和音の構成、コードネームの学習 ・ボディパーカッション等を用いて リズム打ちの練習	2	筆記テスト
	器楽②	ギター演奏	・ギターの基本的な奏法 (コード伴奏・アンサンブル)	1 2	授業の取り組み グループ発表
3 学期	鑑賞②	日本の音楽、伝統 芸能	・日本の音楽や伝統芸能を鑑賞し、 その歴史や特徴、他の音楽との違い を学ぶ。	5	授業の取り組み
	器楽③	箏・三味線の演奏	・箏・三味線の基本的な奏法 ・「さくらさくら」	1 0	授業の取り組み グループ発表
	鑑賞学習 (美術館)	・美術館での鑑賞 (時期については検討中)	・万代島美術館にて作品鑑賞を行 う。(芸術科三科合同) ・美術館での鑑賞マナーを身につ ける。	2	鑑賞態度 プリント提出

計 75 時間(47 分授業)

4 課題・提出物等

- ・実技試験、グループ発表、筆記テストなど、授業時間内で課題を出します。
毎回出席していればできる課題です。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・授業の取り組み
- ・個人での実技試験（歌唱）
- ・グループ発表（器楽）
- ・筆記テスト（楽典）
- ・プリント（鑑賞）

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

6 担当者からの一言

この科目では、幅広いジャンルの音楽に触れ、たくさんの技能と表現力を身につけていきます。そして、一生涯、音楽と関わっていく上での良い手助けになる授業を行っていきたいと思います。

普段から興味のあるもの、そうでないもの、または全く未知だったものなど、さまざまなジャンルの音楽に触れ、自分の感性を磨いていきましょう。

令和2年度シラバス（芸術）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	美術 I	単位数	2単位	学年（コース）	2学年（商業関連学科）
使用教科書	高校生の美術1（日本文教出版）				
副教材等					

1 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ① 様々なジャンルの美術作品に触れることから、幅広い美術の知識と技能を身につける。
- ② 様々な制作活動を通し、豊かな感性と表現力を身につける。
- ③ 美術における技能と感性を高めることにより、生涯美術を愛好する心情を育成する。

3 学習計画

学 期	単元名	学習活動（指導内容）	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
1 学期	描画	鉛筆デッサン	対象を観察し、描くことを通して自身の目を鍛える。 顔の立体感をとらえて濃淡を描き分けて表現する。	4	作品提出
	色彩	色の三属性	三原色から十二色相環を作る。 彩度・明度のグラデーションを配色する。	6	作品提出
	デザイン	色面構成 レタリング	色彩配色によりテーマを表現する。 氏名を明朝体、ゴシック体で描く。 好きな文字（言葉）を創作する。	8 10	作品提出 作品提出
2 学期	工芸	プッシュステンド	自由な題材で光を通した色の輝きを表現する。	16	作品提出
	木彫	レリーフ	姫鏡の裏を自由な題材で彫る。	12	作品提出
3 学期	版画	木版一版多色	修学旅行の思い出等を表現する。	15	作品提出
	鑑賞	教科書の作品を鑑賞する。	教科書の中から好きな作品を選びレポートする。	2	レポート提出
	鑑賞学習（美術館）	・美術館での鑑賞（時期については検討中）	・万代島美術館にて作品鑑賞を行う。（芸術科三科合同） ・美術館での鑑賞マナーを身につける。	2	鑑賞態度 プリント提出

計 75 時間（47 分授業）

4 課題・提出物等

各単元毎の作品を提出する。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

①美術への関心・意欲・態度	②発想や構想の能力	③創造的な技能	④鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

6 担当者からの一言

完成作品をイメージし、根気強く工夫を重ねて制作し、創造することの面白さと完成させる喜びを味わってください。

令和2年度シラバス（芸術）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	書道Ⅰ	単位数	2単位	学年（コース）	2学年（商業関連学科）
使用教科書	光村図書 『書Ⅰ』				
副教材等	教育図書 『くらしのペン習字』				

1 学習目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ①中学校国語科書写と高等学校芸術科書道との継続を図り、「漢字仮名交じりの書」「漢字の書」「仮名の書」、篆刻・実用書における表現力を養う。
- ②書に親しむ活動を通して、自己を主体的に表現する能力と書の美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を育てる。
- ③相互批評などの言語活動をとおして、自己を表現する力を養う。

3 学習計画

学 期	単元名	学習事項	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
1 学期	書へのいざない	<ul style="list-style-type: none"> ・書の美 ・用具・用材 ・姿勢・執筆法・用筆法 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書写」と「書道」との関連及び違いについて理解する。 ・腕の構え方、筆の持ち方、書く姿勢について理解する。 	2	授業の取組 作品提出 プリント提出
	漢字の書「楷書の学習」	<ul style="list-style-type: none"> ・九成宮醴泉銘 ・牛橛造像記 ・顔氏家廟碑 ・雁塔集教序 古典の鑑賞と臨書	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的な古典を鑑賞し、それぞれの古典について、作者や時代背景などを理解する。 ・さまざまな用筆法を学び、字形と線質が作品の雰囲気にもどのように関係するのかを理解する。 	18	授業の取組 作品提出 プリント提出
	漢字の書「一文字創作」	<ul style="list-style-type: none"> ・はがき1文字作品 ・文化祭作品制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨書で学んだ表現方法を再確認し、線質、墨色などによる文字の工夫を意識し、創作する。 ・制作した作品を生徒同士で鑑賞する。 	8	授業の取組 作品提出 プリント提出
2 学期	篆刻	<ul style="list-style-type: none"> ・落款印の制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻の用具・用材について理解し、篆刻の仕方について学習する。 	6	授業の取組 作品提出 プリント提出

	漢字の書「行書の学習」	・蘭亭序 ・風信帖 古典の鑑賞と臨書	・中国や日本の行書の古典を鑑賞や臨書を通して、それらの用筆、運筆、字形のとり方などを学び、行書の基本的な用筆法を習得する。	1 2	授業の取組 作品提出 プリント提出
2 学期	仮名の書	・仮名の基本的な筆使い ・仮名の単体と連綿 ・散らし書き	・仮名独特の基本的な用筆法を身につける。 ・仮名の単体や連綿について理解し、仮名のリズムをつかみながら練習する。 ・散らし書きによる表現技法を学ぶ。	1 0	授業の取組 作品提出 プリント提出
3 学期	漢字仮名交じりの書	・感動した言葉を 書で伝える	・身近な言葉や詩文を題材に漢字と仮名の調和を図り、用具・用材や字形、文字の大きさ、余白などの全体構成を工夫して制作する。 ・制作した作品を生徒同士で鑑賞する。	1 7	授業の取組 作品提出 プリント提出
	鑑賞学習（美術館）	・美術館での鑑賞 （時期については 検討中）	・万代島美術館にて作品鑑賞を行う。（芸術科三科合同） ・美術館での鑑賞マナーを身につける。	2	鑑賞態度 プリント提出

計 75 時間（47 分授業）

4 課題・提出物等

・授業中のレポートやプリントについては期限内に提出する。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

①書への関心・意欲・態度	②書表現の構想と工夫	③創造的な書表現の技能	④鑑賞の能力
書の創作活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
以上の観点を踏まえ、授業の取り組み、提出物の内容・提出状況などから総合的に評価する。			

6 担当者からの一言

・自分を表現する喜びを体験してほしい。
・生涯にわたって芸術を愛好できるよう作品を鑑賞し、味わう楽しさを身につけてほしい。